

天皇制の歴史を考える

冠木克彦弁護士 講演会

今年は、皇室典範の改正があり、天皇制が身近な話題になりましたが、私たち国民は、天皇制の歴史についてどれくらい学習してきたのでしょうか。我が国の祝日は天皇制にまつわる日が多いです。たとえば、11月3日の「文化の日」は、今の日本国憲法が公布された日なのですが、戦前は「明治節」といって明治天皇の誕生日を祝う日でした。

11月23日は、勤労感謝の日ですが、宮中行事の「新嘗祭」に由来します。「春分の日」「秋分の日」も、元々は「春季皇霊祭」「秋季皇霊祭」でした。日本の祝日は、16日ありますが、そのうち半数は天皇制に由来する日です。私たちの暮らしに関係する「天皇制の歴史」を考えてみましょう。これらの問題に詳しい冠木克彦弁護士から、「天皇制の歴史」について聞きます。



冠木克彦弁護士の紹介

大阪労働弁護団・安保法制違憲訴訟弁護団長 / 玄海原発、大飯原発など反原発、人権、護憲などに関わる訴訟の弁護活動に携わる。

2026 年

11/1
日

受付開始 13:00~

開 演 13:30~15:00
—休憩—

質疑応答 15:15~16:00
16:15 終了

ところ
神戸市教育会館
203号室

資料代:500円

*手話通訳はございません。



主催：冠木克彦弁護士講演会実行委員会 osim-0341@cat.zaq.jp